けいやくを　なしとげられる

　　　　　　　　　　かみさま

**げつようび**

心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えなさい。(5～7)

**申命記**

**64～9**

モーセが生まれたとき、イスラエルの民はエジプトで奴隷生活をしていました。イスラエルの民に生まれる男の子は、みんな殺せというパロ王の命令があった状態でした。しかし神様はモーセのいのちを守られて、モーセが王女の息子がなるように導かれました。また、ヨケベデがモーセの乳母になるようにされて、福音が伝えられるようにされました。幼いモーセがお母さんに聞いた福音は、彼が80歳になったとき、エジプトから出る契約になりました。荒野を行く時も、契約をのがさなかったモーセは、驚くべき神様の働きを何度も体験しました。

すべての親は、愛する子どもに最も良いことを与えたいと願います。しかし、神様から与えられた祝福と力でなければ、ヨケベデのように神様の愛と契約を伝えることはできません。

親を通して福音を伝えられて神の子どもになった私は、神様の計画の中にいる祝福の人です。モーセのように、幼いときに聞く福音の契約が刻印されて、その祝福と力で世の中を生かすようになるでしょう。そのことに私を用いられる神様に祈りながら感謝する一日にしましょう。



**きょうのみことば**

インマヌエル教会聖日1部│2019.5.12

**きょうのいのり**

、ありがとうございます。私に伝えられた福音が刻印、根、体質になって、神様の計画に用いられる契約の人として成長しますように。きておられるイエス・キリストのおによっておりします。アーメン

　　　　　　　申命記6章5節のみことばを日本語と英語で書いて

　　　　　　　暗唱しましょう。両親を通して与えられた福音の契約と

　　　　　　　神様の愛を心に刻みましょう。

心を尽くし、精神を尽くし、

力を尽くして、

あなたの神、主を愛しなさい。

申命記6:5

いてみよう



**きょうのでんどう　　　　　　　　　　う　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　する**

りゆうが　ある　レムナントの

　　　　　　　　　　　さいぜん

**かようび**

アハブは王宮をつかさどるオバデヤを呼び寄せた。――オバデヤは非常に主を恐れていた。イゼベルが主の預言者たちを殺したとき、オバデヤは百人の預言者を救い出し、五十人ずつほら穴の中にかくまい、パンと水で彼らを養った――

**I**

**183～4**

学校にいるとつい福音の契約をのがして、苦しくなった経験はありませんか。このように、自分ではどうしようもない現場で、私はどのように神様の答えを受けるべきなのでしょうか。

バアルとアシェラという神の像を作っておがんでいた悪いアハブ王と王妃イゼベルの臣下だったオバデヤは、王宮で重要な仕事を任された者でした。彼はアハブ王と王妃イゼベルが神様の預言者を殺そうとしたとき、死を覚悟して預言者100人を隠してあげました。このように、オバデヤは信仰の人だったのですが、神様から与えられる霊的な力で悪いアハブ王が認めるほど、自分の仕事を言い訳しないで最善を尽くしてやりました。目に見えない霊的決断と戦いをしていたオバデヤは神様を敬いながらみことばに従って行きました。そして、後には預言者エリヤをホレブ山に行くように助けました。

オバデヤのようにみことばを握って学校で起きるすべてのことを祈りながら、与えられたことに最善を尽くしましょう。神様から与えられる力によって、霊的戦争で勝利して、学校で出会うすべての人と勉強を通して神様に栄光をささげるレムナントになるように祈りましょう。



**きょうのみことば**

、ありがとうございます。霊的戦いをするレムナントとして、学校で勝利して、世の中の友だちを生かすレムナントになるように導いてください。きておられるイエス・キリストのおによっておりします。アーメン

インマヌエル教会聖日2部│2019.5.12

**きょうのいのり**

をぬろう

　　　　　オバデヤのように霊的な戦いで勝利するレムナントは、どんな

　　　　　表情でしょうか。下の顔に霊的戦いで勝利する前と、勝利した後の

　　　　　顔を想像して描いて、絵を完成させましょう。



**きょうのでんどう　　　　　　　　　　う　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　する**

いやしの　しょうにん　レムナント

それから、パウロは会堂に入って、三か月の間大胆に語り、神の国について論じて、彼らを説得しようと努めた。しかし、ある者たちが心をかたくなにして聞き入れず、会衆の前で、この道をののしったので、パウロは彼らから身を引き、弟子たちをも退かせて、毎日ツラノの講堂で論じた。これが二年の間続いたので、アジヤに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた。

**すいようび**

**使徒**

**198～10**

世界保健機関 (World Health Organization: WHO)で話す健康は「完全な 肉体的、精神的及び社会的福祉の状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない」ということです。しかし、どんどん、いやすことが難しい病気の人が増えています。それだけではありません。精神と心に病気を持っている人、人々とともにいることができないほど、問題の中にいる人もとても多いです。どのようにすれば、その人々がまことのいやしを受けられるのでしょうか。

1つ目、神様に集中しなければなりません。私たちは自分が考えているより、不必要なことに時間を過ごしている時が多いのです。私を創造された私の主人である神様に集中しながら、私の誤った考えと傷を捨てて、感謝を見つける時間を持ちましょう。２つ目、みことばと祈りで私のたましい、心、思いが一つに集中する祈りを体験しなければなりません。それが神様とのワンネス（Oneness）になります。３つ目、24時、神様を味わう私だけの祈りを見つけなければなりません。私が先にまことのいやしを体験する集中を始めましょう。短くても、毎日その時間を持っているなら、まことのいやしの証人として、まことのいやしをあかしするようになるでしょう。



**きょうのみことば**

、ありがとうございます。いそがしくて、あちこちに向いている私の心と思いを神様に集中して、まことの感謝をするいやしの証人となるように導いてください。きておられるイエス・キリストのおによっておりします。アーメン

いやし使命者大会│2019.5.14

**きょうのいのり**

みことばを

しよう

　　　　　私にいやしが必要な部分があります。

　　　　　神様に祈りの文章を書いて、集中して助けを求める時間を

持ちましょう。



**きょうのでんどう　　　　　　　　　　う　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　する**

ちいさいことを　とおして

　なしとげられる　かみさまの　はたらき

**もくようび**

ですから、私の愛する兄弟たちよ。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあってむだでないことを知っているのですから。

**Iコリント**

**1558**

問題や悩み事があるときは、どのように解決していますか。他の人をうらんだり、または、突然、恐ろしい心になったりします。その状況を抜け出そうと、私の力で解決しようとするときもあるでしょう。

レムナントのヨセフには、突然なできごとが起きました。一度も行ったことがないエジプトに奴隷の身分で引っ張られて行くようになり、罪を犯していないのに、監獄に行くようにまでなりました。ところが、ヨセフはこのような問題を自分の力で解決しようとしませんでした。むしろ神様がヨセフに与えられた契約をより一層固く握りました。その中に隠されている神様の計画があると信じたからです。

神様は私を苦しめようと問題を与えられたのではありません。神様の隠された計画を成し遂げるために、問題が起きることをゆるされました。

今日、私がしなければならない当然なことをしましょう。神様の計画が成就する挑戦になるでしょう。礼拝を通してみことばを覚えて、問題に会う時は、より一層固く神様の契約を握りましょう。私の小さい信仰の選択が、神様の大きい働きを成し遂げるようになるでしょう。



**きょうのみことば**

産業宣教メッセージ│2019.5.18

**きょうのいのり**

、ありがとうございます。神様から与えられる契約を私の小さなでききごとでのがさずに、神様の導きを受けるレムナントになりますように。きておられるイエス・キリストのおによっておりします。アーメン

今月の悩みはなんですか

福音だけに一心になるべき理由が

　わかりません

一心とは「心が一つになること」または「片方にだけ心を注ぐこと」という意味です。これは、最高の価値であるキリストを発見した人が持つ生活の姿勢です。

初代教会の信徒は、キリストの価値を発見した人々でした。それゆえ、死の危機の前でも、信徒はみんないっしょに一か所に集まって、ひたすら祈りに心を注いでいました（使2:1）。

私たちは、きょうも霊的な戦いを戦っている最中です。創世記3章のサタンは、今でも私たちの心が神様のみことばに集中できないように、続けて邪魔をしてきます。しかし、一心に新である神様のみことばに集中していれば、わざわいとのろいが砕かれる、ただキリスト、霊的な力が生まれるただ聖霊の満たしの答えがついてきます（使1:1,3,8）

自分のまわりを見回してみましょう。私たちの家系、学校現場などにあるのろいが砕かれて、暗やみの文化を伝えるサタンが縛られるように、自分がしている小さなことから、福音に向けて一心で集中しましょう（使1:14）。

なやんで

います！



**きょうのでんどう　　　　　　　　　　う　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　する**

わたしが　みはりにん！

**きんようび**

人の子よ。わたしはあなたをイスラエルの家の見張り人とした。あなたは、わたしの口からことばを聞くとき、わたしに代わって彼らに警告を与えよ。

**エゼキエル**

**337～9**

見張り人とは、警戒して守る人のことで、また、そのような仕事を誠実に行う人を示す言葉です。たとえば、兵士は国を守る見張り人です。ですから、24時間、警戒態勢をとり続けています。神の子どもはみんな、霊的見張り人です。霊的見張り人には3つのミッションがあります。

１つ目、私を守る見張り人です。私を救われた方はただイエス・キリストであることを知って、サタンが与えた運命から抜け出した神の子どもの祝福を私が先に知って味わわなければなりません。２つ目、教会を守る見張り人です。私たちの教会が、ただ福音だけを伝える教会になるように祈れば良いのです。３つ目、現場を生かす見張り人です。今でも私のまわりには、福音がなくて永遠のいのちを受けることができず、サタンに捕われている友だちが多くいます。この友だちのために祈るとき、神様は私を通して学校現場を生かされるでしょう。さらに全世界237か国の見張り人として私を用いられるでしょう。この事実を覚えて、今日から見張り人の任務を始めましょう。



**きょうのみことば**



、ありがとうございます。私と教会を守り、現場を生かす見張り人になりますように。神様が喜ばれるこの働きに、私を用いてください。きておられるイエス・キリストのおによっておりします。アーメン

**きょうのいのり**

インマヌエル教会聖日1部│2019.5.19

みことばを

しよう

　　　　　福音が必要な友だちに次のページの伝道トラクトを作って

　　　　　渡しましょう。学校を守る見張り人になる準備をしましょう。

**きょうのでんどう　　　　　　　　　　う　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　する**

ひからびた　ほねを　いかす

　　　　かみさまの　みことば

**どようび**

私が命じられたとおりに預言すると、息が彼らの中に入った。そして彼らは生き返り、自分の足で立ち上がった。非常に多くの集団であった。

**エゼキエル**

**371～10**

「干からびた骨」は、絶対に生きることができない、いのちがない状態を現わす比喩の表現です。これは、神様に会うことができない人の状態を説明するエゼキエルの幻の中に出てくる内容です。聖書には罪過と罪で死んでいた私たちと言われています（エペソ2:1）。

ある日、神様は預言者エゼキエルに干からびた骨がいっぱいあるところを見せられました。見た目にも、永遠のいのちがなく、サタンのわなにつかまり、運命のとおり生きて、まことの幸せも、まことの希望もない状態です。それゆえ、精神と心が病気になって、傷でいっぱいの状態で生きています。神様は、このような世の中に神様のみことば、すなわち、いのちのみことばを伝えなさいと言われます。神様は預言者エゼキエルに、干からびた骨がいっぱいあったのですが、神様のみことばでそれらが生き返る幻を見せられました。

神様は今、私に福音で訓練する重要な時刻表を与えられています。この福音を世の中に伝えて、干からびた骨のようになった人々を生かすようにされるでしょう。そのときを待ちながら、今日も福音で世の中を生かす小さい実践をしましょう。



**きょうのみことば**

インマヌエル教会聖日2部│2019.5.19

、ありがとうございます。干からびた骨のようになっている友だちとこの世の人々を見る、霊的な目を開いてくださり、その人々に福音を伝える準備をするようにさせてください。きておられるイエス・キリストのおによっておりします。アーメン

**きょうのいのり**

きょうのいのり

ちがいを

みつけよう

　　　　　干からびた骨のようになっているところに、神様のみことばを

　　　　　預言するなら、その人々が生きるようになります。

　　　　　２つの絵のちがいを７つ見つけながら、みことばによって

　　　　　生かされるようにと祈りましょう。



**きょうのでんどう　　　　　　　　　　う　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　する**